

用語の分類と改善の視点

資料-2

情報の受け手と提供情報	一般	マスコミ	防災担当者
緊急的な対応を促す用語等（避難等の危険回避など）	<ul style="list-style-type: none"> ・災害のおおよその全体状況、自らが行動すべき内容や避難等の行動のタイミングに関する情報が含まれていること ・単語だけで危険レベルをイメージでき、受け手の行動につながること ・災害時は行動までの時間が切迫しているため、用語は短いこと ・テレビだけでなく、ラジオ、防災行政無線、スピーカー等で伝達される可能性があるため、耳で聞いて解ること ・特殊な語句ではなく、行動・状況を表す一般的な語句で構成されていること ・受け手側の(被災)状況にあわせてあること 		
	危険水位 計画高水位 特別警戒水位 浸水・冠水 決壊 欠壊 破堤 越水・溢水 (〇〇川) 洪水警報 (〇〇川)洪水情報 既往最高水位 既往最大流量	サーチャージ水位 洗掘 漏水 法崩れ ただし書き操作	
危険回避のための準備、注意喚起をする用語等	(上記緊急的な対応を促す用語等に必要な視点に加え) ・時間的余裕があることから、語句に説明を加える等多少長くても正確な状況を伝えられること（用語の短さより情報の正確さを優先）		
状況を説明するために用いる用語等	警戒水位 〇〇川洪水注意報 出水 強雨域 右岸・左岸 AP YP	水位情報周知河川 樋門・樋管 排水機場 堤内地・堤内 堤外地・堤外 余裕高 高水敷 派川	(堤防) 天端 水防警報 水防警報指定河川 指定水位 直轄区間 指定区間 補助区間 川裏 川表 法・法面 沿川 内水 設計洪水位 常時満水位 洪水期制限水位